



今後の事業展開について

2024年4月26日

株式会社ツインバード

代表取締役社長 野水 重明

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～
2. 中期経営計画 2023-2025
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

目次

1. **VISION 2030** ～長期ビジョン～
2. 中期経営計画 2023-2025
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

ツインバードの経営理念・パーパスと「VISION 2030」

経営理念

感動と快適さを提供する商品の開発
相互信頼を通じた豊かな関係作り
快活な職場づくりへの参画と社会の発展への寄与
自己の成長と豊かな生活の実現

パーパス

1. 感動と快適さの提供により、人々の「持続可能な幸せ」を創造する
2. 燕三条地域特性を生かした付加価値創造により、地域経済成長を牽引する
3. グローバル視点で活動し、国内外の社会課題を解決する

VISION 2030

「お客様満足No.1」のその先へ
～燕三条発のイノベーションで、世界中の人々に持続可能な幸せを提供するブランドになる～

VISION 2030：家電製品事業

家電製品事業

ブランド投資を結実させ、「熱狂的なファン」100万人を獲得する！

国内市場

- ・ 燕三条発のイノベーションで、お客様の「一番美味しい」「一番快適な」を創造する製品群を提供する
- ・ 家電製品事業で確立したブランド資産をレバレッジし、事業領域を拡大する

海外市場

- ・ 市場環境に合わせ自社ブランドとOEMを使い分け、東アジア市場に加え、経済成長著しい東南アジア市場を開拓する

VISION 2030 : FPSC事業*

FPSC事業

世界の人々の健康と、持続可能な社会づくりに貢献する！

- 医療・バイオ分野
- 化学・エネルギー分野
- 計測・環境分野
- 食品・流通分野

- ・ パンデミックで立証されたFPSC冷凍機の高い信頼性を武器に成長するグローバルコールドチェーン市場に向け、低温～超低温までカバーする冷凍庫・冷凍運搬庫を提供する
- ・ 性能担保に必須となる定期保守サービスを事業化する

- 脱炭素への貢献

- ・ 脱炭素に取り組む企業に対し、省電力・低排熱など FPSCエンジンの優れた環境性能を訴求し、既存冷却装置の置き換えを進める

*FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー 詳細は14頁を参照

中期経営計画2023-2025の位置づけ

VISION 2030

「お客様満足No.1」のその先へ

～燕三条発のイノベーションで、世界中の人々に持続可能な幸せを提供するブランドになる～

既存商品点数を半減、商品
ポートフォリオを最適化

HOP

中期経営計画 2020-2022

事業構造を筋肉質に転換
強化した財務体質を活用し
収益事業で成長を目指す

「匠」から「仕組み」へ

STEP

中期経営計画 2023-2025

バリューチェーンの仕組み化と
積極的な新商品開発投資により
成長のフレームワークを作る

非連続な事業成長のフェーズへ

JUMP

中期経営計画 2026-2028

お客様に販売する店舗網を構築し
ツインバードの世界観を表現する
デジタルやM&Aを活用し、グロー
バルにスケールする

2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～
2. 中期経営計画 2023-2025
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

中期経営計画2023-2025の骨子



家電製品事業：「匠プレミアム」と「感動シンプル」ブランドライン



Takumi Premium

あの匠の技を、好きなだけ。
「匠プレミアム」



匠の技術・暗黙知を家電の力で具現化する「Takumi Premium」



Kando Simple

シンプルって、こんなに豊かだ。
「感動シンプル」



生活者の”不”を最もシンプルな形で解消する「Kando Simple」

家電製品事業：需要の大きな生活必需品のラインナップ強化

需要の大きな生活必需品カテゴリーに、ツインバードの独自性あふれる製品を小型から中型までのラインナップで拡充する。このため、積極的な新商品開発投資を実行する。

増加する単独・少人数世帯

ターゲットを絞った商品作り

- ・ミニマリズム
- ・独自のライフスタイル
- ・趣味やこだわり
- ・ブランドより機能優先
- ・SDGsへの共感
- ・値段よりこだわり
- ・良いモノを長く使う
- ・ストーリーへの共感



注力カテゴリーのラインナップ化

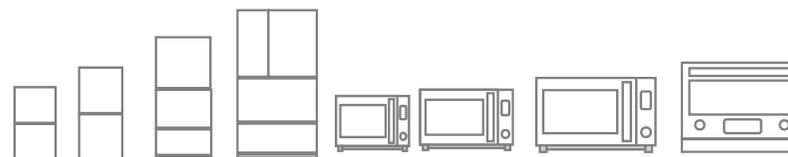
注力カテゴリー

リピートやライフステージごとの買替需要も見込める需要の大きな生活必需品

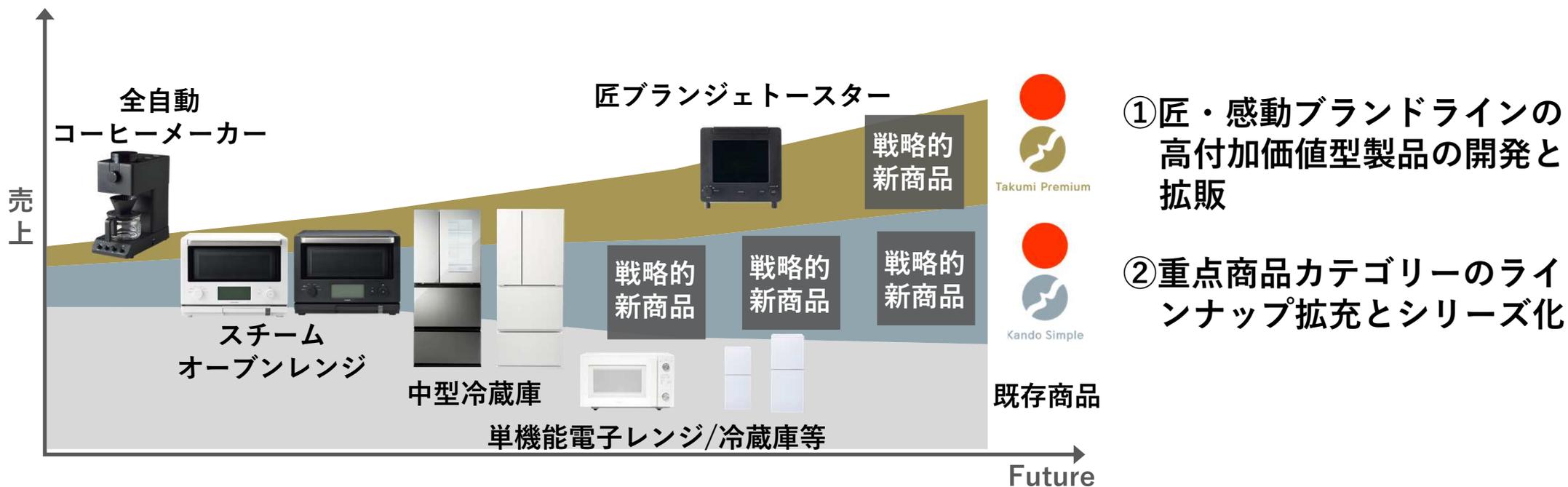
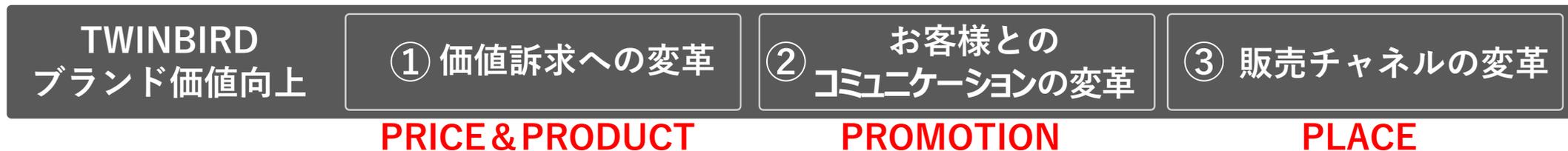


シリーズ化

お客様にお選びいただきやすくご販売しやすい商品ラインナップ



家電製品事業：収益性向上と成長のシナリオ



・ 図はイメージを表現しています。

【免責事項】 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

家電製品事業：海外市場の開拓

- ・ 東アジア市場に加え、事業パートナーとの協業により東南アジア市場を開拓

自社ブランド事業の展開



事例：東アジア市場でのブランド展開

CM-D457TWB：匠_全自動珈琲メーカー（台湾市場）

TB70：感動_充電式スティック型クリーナー等（韓国市場）

東アジア市場 の事業例

OEM事業の展開



事例：東アジア市場でのOEM事業

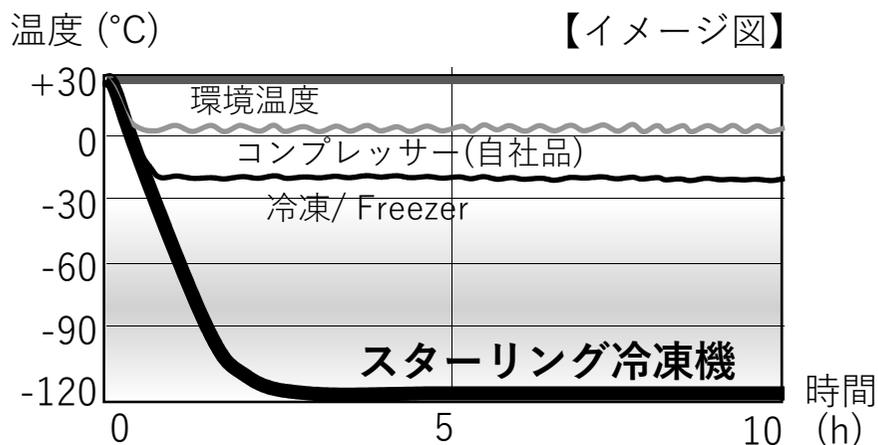
英会話知育教材の共同開発

BR2：Mickey Mouse Blu-ray MATE

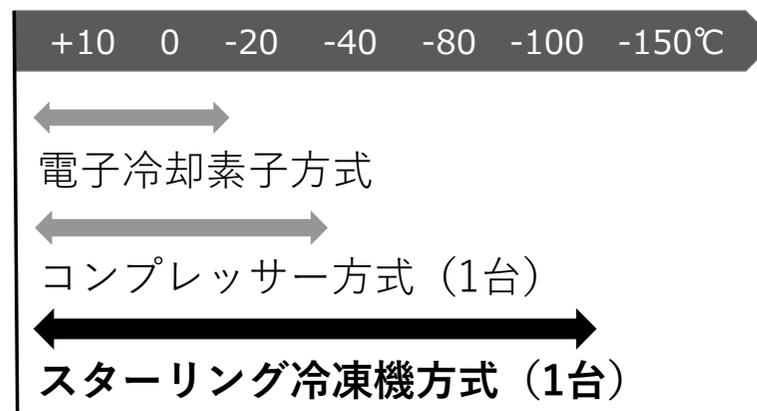
※ World Family English Ltd.様とのビジネス

FPSC事業：フリー・ピストン・スターリング冷凍機の特長

1. 厳密な温度制御



2. 極低温領域への適用



3. コンパクト・ポータブル

- 車で冷凍したまま運搬OK
- 停電時はシガープラグで安全保管



4. 環境にやさしい

- 冷媒にフロン不使用
- 省エネルギー設計



FPSC事業：注力4分野と主要な地域

- 4分野に注力し、重点顧客との取引深耕と成功事例の横展開により、事業規模の拡大を図る

注力4分野



※新冷却技術 FPSC (フリー・ピストン・スターリング・クーラー)

主要な地域

北米および欧州



2025

売上高

150億円

(2022年度比 +37.2%)

営業利益

8億円

(2022年度比 20倍)

営業利益率

5.3%

(2022年度比 +4.9 pt)

ROE

5.0%以上

DOE

1.8%以上

PBR

1.0倍以上

再掲) 2025年2月期 通期業績予想

- 家電製品事業は、「匠プレミアム」「感動シンプル」の2つのブランドラインを軸に、お客様起点での製品ラインナップの拡充や製品ポートフォリオの最適化を進め、製品付加価値の向上を通じた収益性の改善を図る
冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・掃除機などの需要の大きな生活必需品カテゴリーに、ツインバードの独自性あふれる製品を小型から中型までのラインナップで拡充し、お客様に売り場でお選びいただきやすい新製品を多数投入する
- FPSC事業は、FPSC冷凍機（エンジン）の省スペース性や可搬性、さらに高い信頼性が評価され、燃油計測器、温度校正器、加えて細胞冷凍保存機器などの分野で欧米地域を中心に採用が拡大していることから、販売体制を強化して標準採用化を拡大

単位：百万円	2024年度	2023年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	前期比 変動率
売上高	10,500	10,303	197	1.9%
営業利益	200	113	87	77.0%
売上高比	1.9%	1.1%	0.8pt	
経常利益	180	166	14	8.4%
当期純利益	130	108	22	20.4%

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～
2. 中期経営計画 2023-2025
3. **資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて**

当社の資本コストと株価についての現状分析

- ・ 現在の当社PBRは0.66倍と1.0倍を下回る水準
- ・ PERは49.8倍と一定水準を確保するもROEは1.3%と株主資本コストを下回る



*PBRとPERはそれぞれ期末日時点の当社株式終値にて算出

まずは、株主資本コストを上回るROE5.0%達成（中期経営計画 2025年度 目標値）に向けて収益性の向上とバランスシート効率化など、中長期的に企業価値を向上させる取り組みが必要

参考資料：投資者の視点を踏まえた「資本コストや株価を意識した経営」のポイントと事例 東京証券取引所（2024.2.1）

経営資源の適切な配分を意識した抜本的な取り組み ～中期経営計画2023-2025より～

ツインバードのパーパス（存在意義）

1. 感動と快適さの提供により、人々の「持続可能な幸せ」を創造する
2. 燕三条地域特性を生かした付加価値創造により、地域経済成長を牽引する
3. グローバル視点で活動し、国内外の社会課題を解決する

パーパスに基づき、持続的な企業価値向上と株主価値の創出を行うことで
まずは、2025年度に当社株主資本コストを踏まえ、
ROE5.0%以上、DOE1.8%以上、PBR1.0倍以上の実現を目指す

基本戦略

- お客様視点での商品ラインナップ拡充
- 財務体質を筋肉質に強化
- 成長事業の進展

財務戦略

- 収益性改善によりキャッシュ創出力をさらに高めることで積極的な戦略的投資を実行
- 安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）を実行

非財務戦略

- 気候変動に対する取組み、持続可能な企業価値向上を支える人事戦略の推進等、ESGを意識した企業活動を推進

2024年度より部門ごとに長期利益を意識した目標数値・KPI指標を掲げ、社員一人ひとりの個人目標に紐づけて対話を行うことで、社員が自分事として取組める仕組みづくりを推進

資本コスト（CoE）の低減を意識した各種施策

企業のサステナビリティを向上し、着実な株価向上を目指す

業績ボラティリティの低減

- 商品点数を絞込む一方で、需要の大きな必需品の品揃えを拡充
- 国内製造と海外販売を拡大し、為替変動による原価高騰リスクを軽減
- ローコストオペレーションを徹底し、固定費及び変動費を圧縮

サステナビリティ経営の推進

- 環境にやさしいFPSC技術を活用した脱炭素への貢献
- 働きがいのある職場づくりを推進し、安定した人的資本を確保
- 多様で経験豊富な社外取締役を登用し、コーポレートガバナンスを強化

ステークホルダーのエンゲージメント向上

- 安定した配当政策（2008年度以降減配なし*）と株主優待制度の拡充
- 年2回の決算説明会や機関投資家との対話を通じて当社の理解度を向上
- 従業員持株会の奨励金10%を継続、高い加入率を維持向上（24年1月現在52%）

*記念配当を除く

企業価値向上との連動を意識した役員報酬制度

取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、業績および企業価値の向上に貢献する意識を高める報酬体系を設計

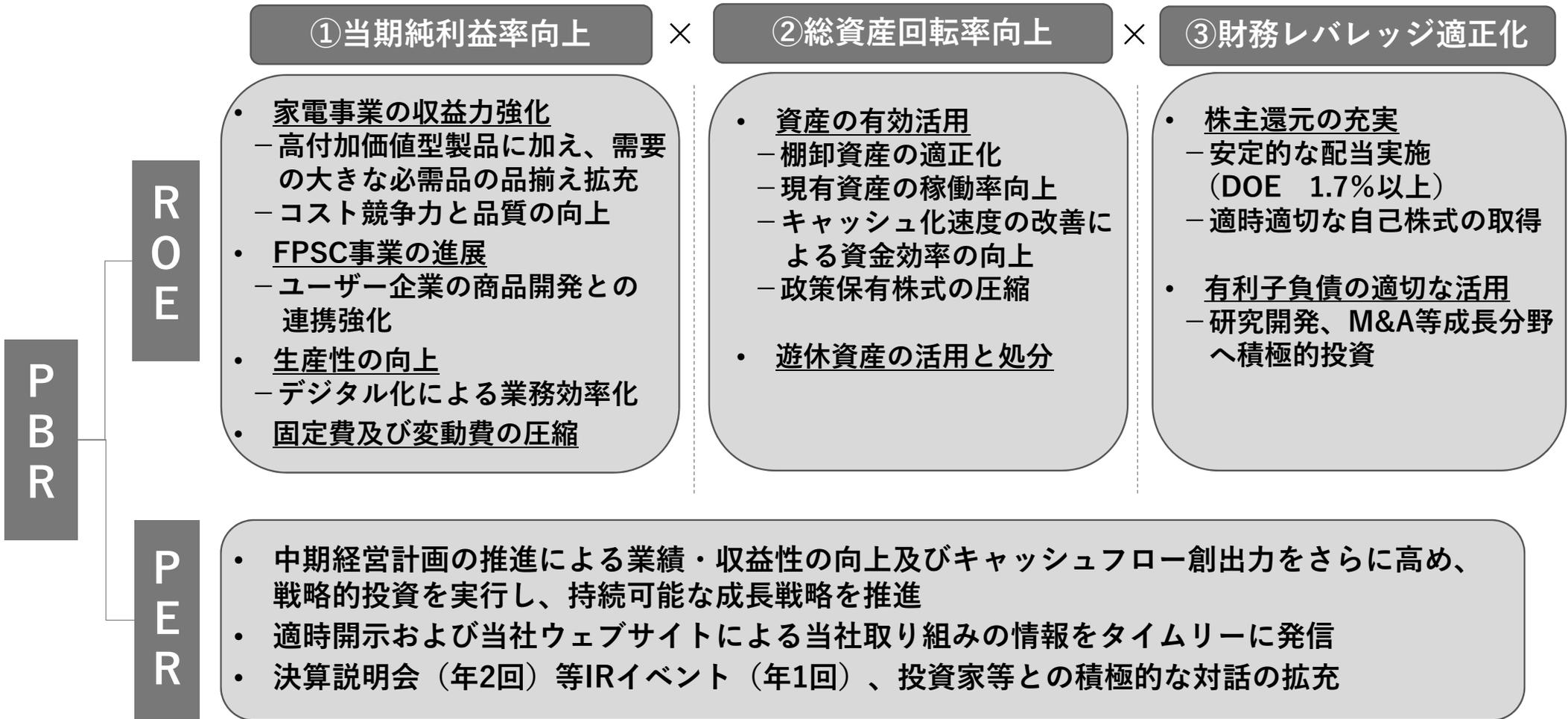
- 業績達成度と連動性の高い報酬制度に移行
- 長期ビジョン達成に必要な人財を確保・維持できる報酬水準
- 報酬決定プロセスの透明性・客観性を確保する指名・報酬委員会を設置

※取締役報酬構成比イメージ



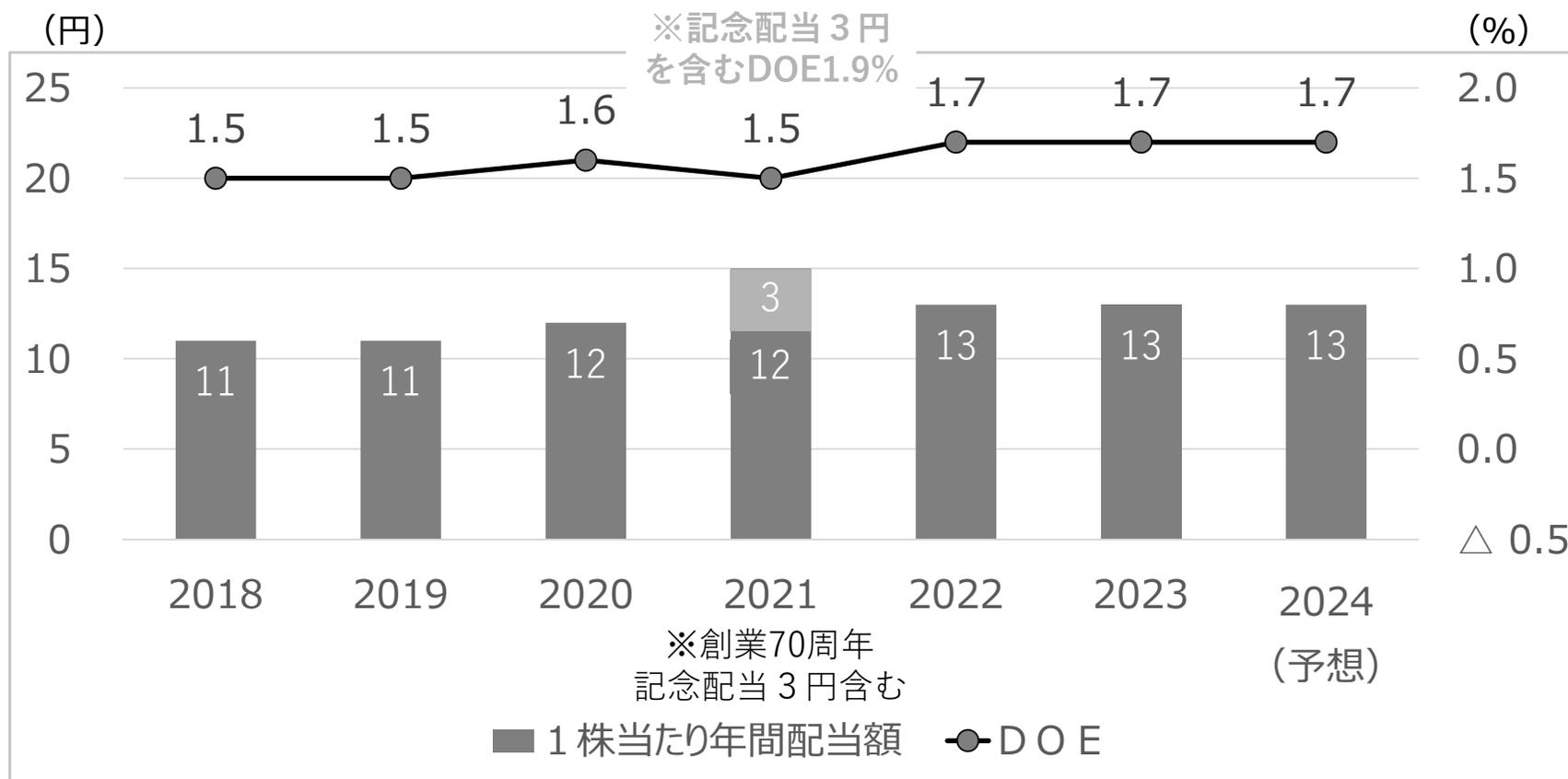
中長期の業績向上および企業価値の増大などに応じた報酬制度についても今後検討

資本収益性・市場評価の改善に向けた取り組み



再掲) 1株当たり年間配当額、純資産配当率(DOE)

当期(2023年度) 期末配当は1株当たり10円 年間配当は13円(DOE 1.7%)を予定
 次期(2024年度) 年間配当は1株当たり13円(中間3円、期末10円) DOEは1.7%を予想



株主優待制度：株主優待特設サイトの開設（2024.5.24）

- ・ 1万4千人の株主様を対象に「株主優待特設サイト」を開設
株主様に良いお買い物体験をしていただくことで、株主様の満足度を向上する



TWINBIRDの人気商品を
株主様だけの特別価格で販売

株主様にお送りする
ご優待クーポンでさらにお得に

全品送料無料など
さらなる特典も

株主優待制度

2024年5月24日(金)に『ツインバード株主優待特設サイト』を新たにオープンし、当社株主優待制度を通して、当社サービスをさらにお得に体験いただける機会を提供いたします。

配当利回り2.6% + 優待利回り3.9%以上 = 6.5%以上 ※1

優待内容：『ツインバード株主優待特設サイト』で商品ご購入に使用できる優待クーポン

保有株数	100～1,000株未満	1,000～2,000株未満	2,000～5,000株未満	5,000～10,000株未満	10,000株以上
1年以下 継続保有者	2,000円クーポン				
1年超 継続保有者	3,000円クーポン	6,000円クーポン	12,000円クーポン	20,000円クーポン	30,000円クーポン



※画像はイメージです

ツインバード株主優待特設サイトのお得な特典

- Point1. 株主様だけの特別価格で当社商品を販売
株主優待クーポンのご利用でさらにお得に
- Point2. 全品送料無料 (一部大型商品のリサイクル料金等を除きます)
- Point3. 一部製品は安心の5年間保証

※1 配当金額は1株当たり13円、株価は2024年2月末日の株価にて算出。 ※2 ツインバード公式オンラインストア販売価格 ※3 株主優待制度の詳細につきましては当社公式ホームページをご確認ください。

免責事項：株主優待制度に関する内容は将来変更となる可能性があることにご留意ください。



IRに関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 執行役員 企画管理本部 副本部長 井上 淳也 (TEL : 0256-92-6111)

決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。